

〔特 別 掲 載〕

(東京女医大誌 第30巻 第12号)
(頁2839—2846昭和35年12月)

本邦自殺死亡率の地方別観察

東京女子医科大学衛生学教室 (主任 吉岡博人教授)

山 崎 千 春
ヤマ サキ チ ハル

(受 付 昭 和 35 年 10 月 25 日)

I 緒 言

昭和30年から国勢調査年度をさかのぼり、25年、22年、10年、5年、大正14年、9年と7年度にわたる本邦自殺死亡率について府県別、性別、年齢階級別の研究をすすめてきたが、気候風土、社会環境、自然環境などが共通と思われる地方により自殺死亡率の上に類似した傾向がみられることが発見された。自殺原因としてあげられるものには社会的、経済的、心理的、身体的などの諸原因の交さくしたものが多く、すでに諸研究により発表されてきているが、これらの原因を作りだす環境のうち自然環境、経済的水準、生活様式などを共通にした1つの地方としていくつかの府県をまとめ、自殺死亡率を考察してみることに意義を発見し、ここに全国を14地方に区分し、府県別と同様に国勢調査年度を30年からさかのぼって7年度について昭和の戦後と戦前、および大正年間の3つに区切つて性別、年齢階級別に観察をすすめてみることにする。

II 資料および研究方法

資料：昭和30、25、22、10、5、大正14、9年人口動態統計

同年国勢調査報告

研究方法：昭和30、25、22、10、5、大正14、9年の14地方別自殺死亡率を性別年齢階級別に算出した。さらに前報と同様昭和5年度全国人口を標準人口とした訂正死亡率を算出した。これらにより地方別、性別、年齢階級別自殺死亡率、訂正死亡率およびその性比について昭和30年、25年、22年を戦後とし、昭和10年、5年を戦前とし、大正14年、9年を大正年代として3つに区分し比較観察した。

なお地方の区分は三浦* にならい次表のごとく全国を14地区に分けた。

	地方名	府県名
1	北海道	北海道
2	東 北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
3	北関東	茨城、栃木、群馬
4	南関東	埼玉、千葉、神奈川
5	東 京	東京
6	北 陸	新潟、富山、石川、福井
7	東 山	山梨、長野、岐阜
8	東 海	静岡、愛知、三重
9	近 畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
10	山 陰	鳥取、島根
11	山 陽	岡山、広島、山口
12	四 国	徳島、香川、愛媛、高知
13	北九州	福岡、佐賀、長崎、大分
14	南九州	熊本、宮崎、鹿児島

* 三浦英夫：地域的生活水準の比較について。厚生省指標 6(8) 18～23 (昭34)

II 研究結果ならびに考察

昭和30年、25年、22年、10年、5年、大正14年、9年の7年度の地方別自殺訂正死亡率と性比および年齢20～24才階級の自殺死亡率とその性比を末尾の付表に示す。

1. 地方別自殺訂正死亡率

1) 男女総数の観察

表I, a に年度別自殺訂正死亡率男女総数の最高、最低地方を示す。

まず死亡率についてみると、戦後の30年を除いて25年と22年は最高率、最低率ともに低く、戦前の10年と5年の2カ年はここに示された7年度のうちの最高率である。大正年代は9年は低いが14年は戦前に近づいてきている。これを年代順にみてゆくと大正9年から14年にかけて自殺死亡は上昇傾向を示してきたものが昭和の5

表 I 自殺訂正死亡率最高および最低地方

a. 男女総数

	年度	最高率 (1位)		最低率 (14位)	
		自殺死亡率	地 方	自殺死亡率	地 方
昭和	30年	25.8	近 畿	19.1	東 北
戦	25年	21.4	東 山	14.2	南九州
後	22年	21.7	北 陸	12.2	〃
戦	10年	26.7	南関東	16.6	北九州
前	5年	28.2	東 山	16.6	〃
大正年代	14年	24.7	南関東	15.5	南九州
	9年	22.7	東 山	12.6	〃

b. 男 子

	年度	最高率 (1位)		最低率 (14位)	
		自殺死亡率	地 方	自殺死亡率	地 方
昭和	30年	33.5	近 畿	24.5	北関東
戦	25年	26.6	北 陸	17.7	山 陰
後	22年	28.4	〃	15.7	北関東 南関東
戦	10年	31.3	南関東 北 陸	20.7	北九州
前	5年	33.2	南関東	21.9	〃
大正年代	14年	30.1	東 山 山 陽	19.9	南九州
	9年	26.8	南関東	14.4	北九州

c. 女 子

	年度	最高率 (1位)		最低率 (14位)	
		自殺死亡率	地 方	自殺死亡率	地 方
昭和	30年	18.9	東 京	14.0	南九州
戦	25年	17.5	東 山	9.1	〃
後	22年	15.9	〃	8.1	〃
戦	10年	18.5	北関東	10.0	〃
前	5年	22.3	東 山	10.4	〃
大正年代	14年	19.3	南関東	10.7	〃
	9年	18.4	〃	7.8	〃

(自殺死亡率は人口10万対)

年、10年と最高に達し、戦争の開始で低下をはじめ、戦後の25年までは比較的低い、25年以降の経済的安定期に入ってからかえって再び上昇をみせたものと思われる。最低率も最高率と同様の傾向を示している。自殺の

高率地方は地は本邦の地理的中央部に分布している。大正9年、昭和5年、25年は東山地方が最高である。また南関東も昭和10年と大正14年の2カ年1位である。最低率地方は30年を除き、戦後と大正年代を南九州で、戦前は北九州でしめている。

ついで自殺訂正死亡率、男女総数を地方別に図I, aに示す。各年を通じ低率地方の分布は本邦北端と南端にある。高率地方はこれを除く本邦地理的中央部にある。

2) 性別観察

表I, bに自殺訂正死亡率、男子の最高、最低率について示した。まず死亡率の最高率をみると昭和30年の最高を除き、大正9年から14年にかけて上昇傾向を示し、戦前は高率を維持し戦争で低下したものが戦後の25年まで影響をおよぼしているという状態はさきにのべた総数と同様である。最低率も同じ傾向である。

地方別、男子を男女総数の地方別分布状態と比較すると、昭和22年に中央部に最低率地方が移行した点異なるほかは、高率、低率地方の分布は男女総数の地方別分布と大差がない。

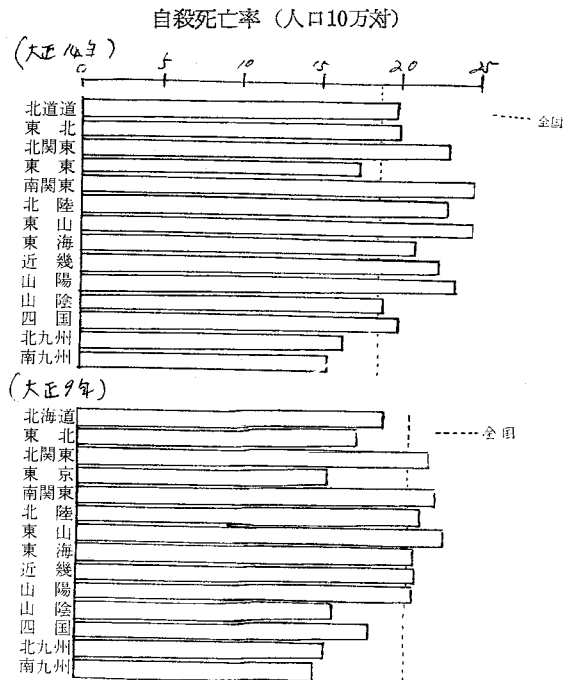
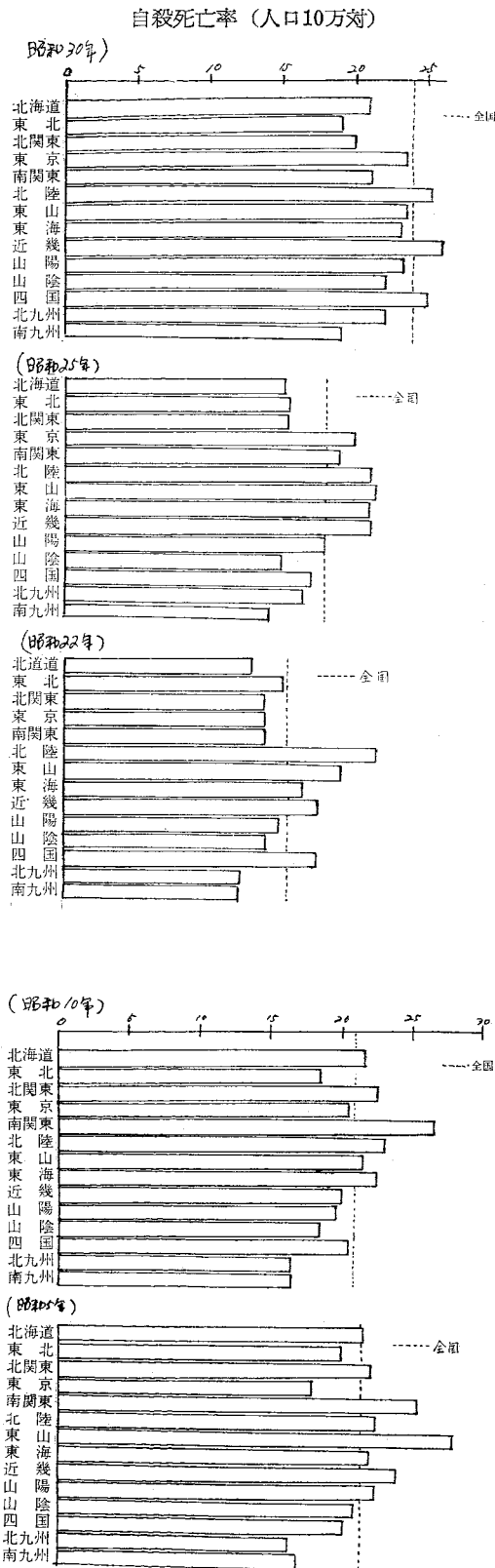
ついで表I, cに同じく女子について示した。まず死亡率の最高率をみると戦後の2年間は低率であるが、戦前および大正年代は、男女総数、男子ほどのつぎりした変化はみられない。最低率も同じことがいえる。最高最低地方の分布状態は男女総数および男子に類似している。

自殺率は戦争による文化の破壊をした時には低下して、物質文明の発展の時に上昇するというが、大正から戦前、戦後にと、この社会状況と平行した自殺死亡率の推移をみたのが、さきにのべた男女総数と男子であるが、女子においてはこの影響が少ないと思われる。生活様式の類似した地方別に算出した女子訂正死亡率が社会情勢の変動と関係のうすい傾向を示していることは、女子が経済力の支柱としての立場に立つことが少ないために、社会的影響をうける程度が少ないとみてよいのではなかろうか。

ついで図I, bに自殺訂正死亡率、男女別を地方別に示した。全年度を概観すると、すべての年度、すべての地方において男子は女子より高率である。年度別に男子の高率、低率の分布状態をみると、まず30年は北端が低く南に高い傾斜をなしており、すでにのべてきたうちにはみられない傾向である。25年から大正9年までは大体において南端、北端が低く、中央部の高い男女総数の形態と類似した形態である。女子は7年度とも例外もなく南北端がひくく中央が高い形態を示している。

末尾の付表より地方別自殺訂正死亡率性比の最高と最低地方を求め表IIに示す。性比の最も低いのが大正9年で、14年には上昇をはじめ、昭和に入ってから全般的に最高最低ともに高い。さきに昭和年間性比が上昇し

図 I, a 地方別自殺訂正死亡率, 男女総数



たことをのべたが、この昭和年間の性比の高位地方の分布をみると、自殺死亡率の低い南端が性比が極端に高いことがみとめられる。性比の低下した大正9年にはこれがみられない。

表 II 自殺訂正死亡率性比最高および最低地方

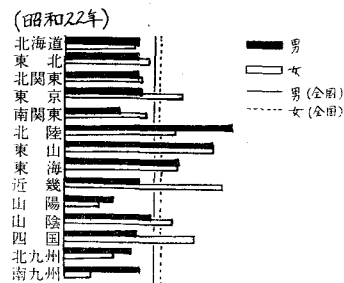
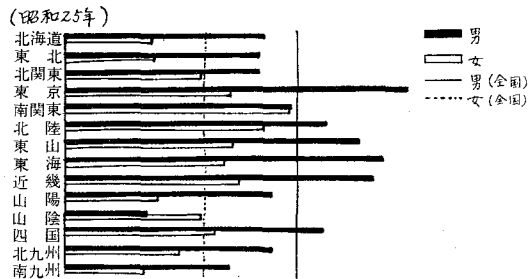
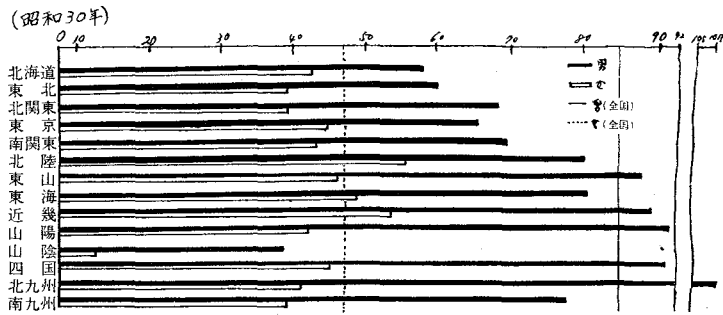
年度	最高性比		最低性比	
	性比	地 方	性比	地 方
昭和30年	220	北九州	130	南 関 東
25年	210	南九州	140	北関東, 山陰
22年	230	四 国	130	東京, 南関東
10年	240	南九州	140	山 陰
5年	280	〃	140	東 山
大14年	200	四 国	130	北 海 道
9年	170	北海道, 東北, 北陸, 四国	110	東 京

性比は (男子死亡率/女子死亡率) × 1000

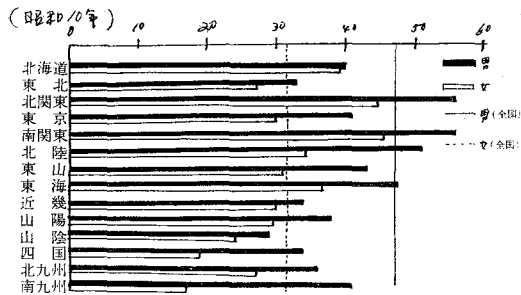
2. 地方別20~24才自殺死亡率

表Ⅲ, a に年度別年令20~24才男子自殺死亡率の最高および最低率地方を示す。年令階級別自殺死亡率は第1の峰が20~24才にあり, 第2の峰が80才以上にあることはすでに府県別観察でのべたので, 今回はこの20~24才階級のみを観察する。男子最高率の推移をみると大正9年は低く, 14年に上昇を示し, 戦前は高率を維持し, 戦後には低下し, 30年は極度に上昇している。これは男女

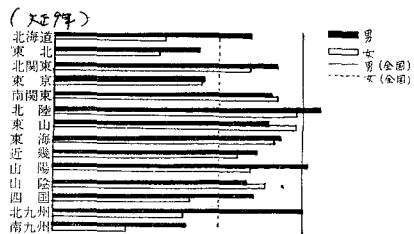
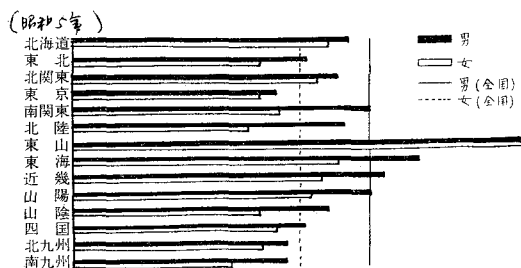
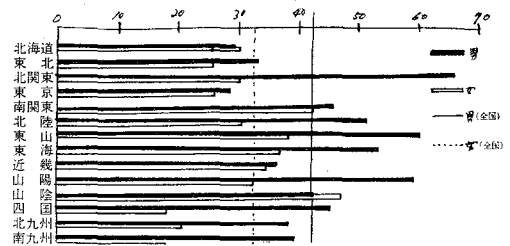
図 I, b 地方別自殺訂正死亡率, 男女別
自殺死亡率 (以口10万対)



自殺死亡率 (人口10万対)



(大正14年) 自殺死亡率 (人口10万対)



表Ⅲ, a 年令20~24才男子自殺死亡率最高および最低地方

年度	最高率 (1位)		最低率 (14位)	
	自殺死亡率	地 方	自殺死亡率	地 方
昭30年	107.2	北九州	38.6	山 陰
25年	54.8	東 京	18.4	〃
22年	30.4	北 陸	14.0	山 陽
10年	56.1	北関東	29.2	山 陰
5年	65.2	東 山	29.4	東 京
大14年	65.7	北関東	28.4	〃
9年	43.5	北 陸	21.3	南九州

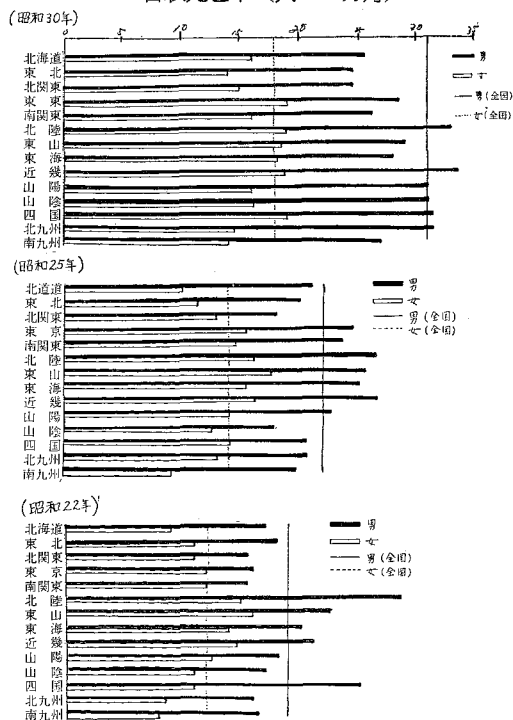
表Ⅲ, b 年令20~24才女子自殺死亡率最高および最低地方

年度	最高率 (1位)		最低率 (14位)	
	自殺死亡率	地 方	自殺死亡率	地 方
昭30年	55.4	北 陸	12.5	山 陰
25年	38.0	南関東	18.0	南九州
22年	28.7	近 畿	10.9	〃
10年	45.6	南関東	17.0	〃
5年	65.4	東 山	23.0	〃
大14年	47.0	山 陰	17.8	四 国
9年	39.4	北 陸	11.4	南九州

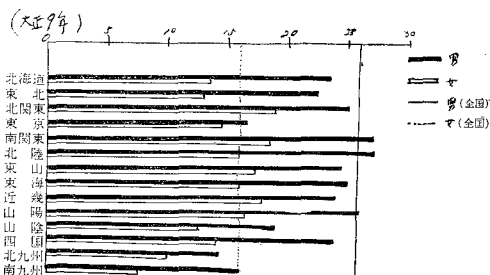
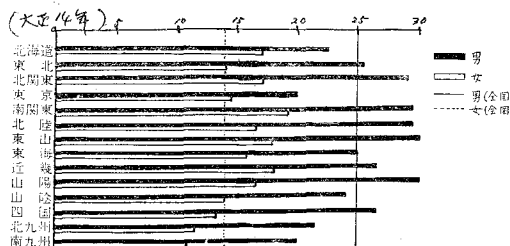
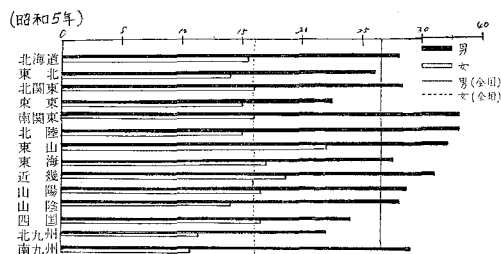
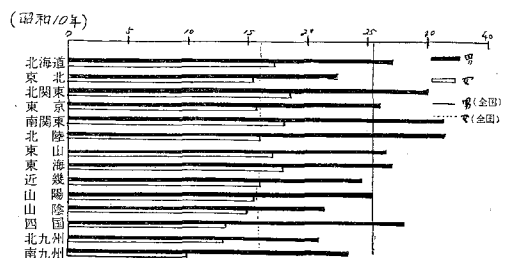
(自殺死亡率は人口10万対)

図Ⅲ 地方別年令20~24才自殺死亡率, 男女別

自殺死亡率 (人口10万対)



自殺死亡率 (人口10万対)



総数および男子と同一傾向である。最低率の推移も同様である。最高最低ともに昭和22年は低率であるが、これは男子青年期の峰が20~24才から25~29才に1階級ずれているためのものである。高率低率地方の分布をみると昭和30年を除いて高率低率地方はやはり中央部にある。低率地方の分布には例外的に東京が入っている。

女子については表Ⅲ, b に示す。死亡率の最高からみると男子にみられた定つた傾向はみられない。これは女子総数においてのべた理由と同じと思う。低率についても同様である。高率地方の分布はやはり中央部に集まつ

ている。低率地方は南端に集まっている。性別年令20～24才自殺死亡率を年度別に図Ⅱに示す。男子について年度別に観察すると30年は北が低く南に高い傾斜をなしていることは性別男子総数と類似している。その他の年度は中央が高く両端が低い。女子はすべての年度が大体同一傾向で中央が高く南北端が低くなっている。30年は男子がすべての地方で女子より高率であるが、その他の年度では女子の方が高率の地方がある。特に22年は7地方が女子の方が高い。これは女子の峰は20～24才にあるのに男子の峰が25～29才にずれた結果である。

Ⅳ 総 括

(1) 地方別自殺訂正死亡率, 男女総数の観察

昭和の戦後と戦前, 大正年代とに区分して年度別最高率の推移をみると, 大正9年から14年にかけて自殺死亡率が上昇をはじめ昭和の戦前に入つて最高を維持し, 戦争で低下し, 戦後22年, 25年とこの影響がつづきその後の経済安定期に入り再び上昇をはじめ, 30年が最高に達している。最高率地方の分布は本邦中央部に集中しており, 最低率地方は九州に集中している。

(2) 地方別自殺訂正死亡率, 性別観察

男子の最高率, 最低率の年度別推移は男女総数の推移と同一傾向である。最高率地方, 最低率地方の分布も総数の地方分布と大差いが, 22年に最低地方が中央部にきている点のみ異なる。

女子の最高率, 最低率の年度別推移は, 戦後の低率は男子と共通であるが, その他は男子のようにはつきり

した傾向を示さない。男子は社会的影響をはつきりうけているが, 女子はあまりうけていない。すべての年度, 地方において男子の自殺死亡率は女子より高い。年度別の男女の高率地方分布をみると, 昭和30年の男子が北端が低く南端に向つて高くなっているが, 他は男女ともに南, 北両端が低く中央が高い分布状態を示している。

性比は大正9年が低く14年から昭和全般にわたり戦前戦後の関係なく高くなっている。

(3) 地方別20～24才自殺死亡率

20～24才自殺死亡の年度別最高率, 最低率の推移をみると, 男子においては昭和9年が低く, 14年にかけて上昇し, 昭和の戦前に高率を維持し, 戦後に低下し, 30年に極度に上昇している。女子にはこの傾向はみられない。年度別に男女高率地方の分布をみると, 30年のみが男子において北端が低く南端が高いほかは, 男女ともに南北端が低く中央部が高い。この年令階級の自殺死亡は22年に女子が高率である地方が7地方あり, 他の年度にも1～2地方女子が高い。昭和30年は全地方において男子が高い。

稿を終るにのぞみ終始御懇篤なる御指導と御校閲を賜わつた吉岡博人教授, 諸岡妙子助教授に深甚なる謝意を表します。

文 献

先報, 本邦自殺死亡率の研究, 第I報に同じ。

付 表

地方別自殺訂正死亡率と性比, 年令20～24才死亡率と性比

(昭和30年)

死亡率は人口10万対, 性比は(男死亡率/女死亡率)×100

地 方 名	訂 正 死 亡 率				20～24才死亡率		
	総 数	男	女	性 比	男	女	性 比
全 国	23.9	30.8	18.1	170	84.8	47.2	180
北海道	20.8	25.5	16.1	160	58.1	42.7	140
東北	19.1	24.5	14.1	170	60.2	38.9	150
北 関	19.8	24.5	15.1	160	68.4	38.9	180
東 関	23.5	28.4	18.9	150	65.7	44.7	150
南 関	21.0	26.2	15.8	130	69.6	43.1	160
北 東	25.3	33.1	18.8	180	80.3	55.4	150
東 東	23.6	29.1	18.4	160	87.8	46.2	190
南 東	23.2	28.0	18.3	150	80.6	48.7	170
近 畿	25.8	33.5	18.7	180	89.7	53.5	170
山 陽	23.3	30.8	16.0	190	91.7	42.0	220
陰 陽	22.0	30.9	16.3	190	38.6	12.5	310
山 陰	25.0	31.4	18.7	170	91.3	45.1	200
四 国	22.1	31.6	14.6	220	107.2	41.1	260
北 九	19.2	26.7	14.0	160	77.5	39.1	200
南 九							

(昭和25年)

地 方 名	訂 正 死 亡 率				20~24才死亡率		
	総 数	男	女	性 比	男	女	性 比
全 国	18.0	22.2	13.9	160	41.8	26.5	160
道 北	15.2	20.6	10.3	200	35.2	19.3	180
東 京	15.6	20.0	11.4	180	34.4	19.6	180
東 北	15.4	18.0	13.0	140	34.1	26.1	130
東 南	19.9	24.4	15.5	160	54.8	30.3	180
北 海	18.9	23.4	14.7	160	38.6	38.0	100
道 南	21.2	26.6	16.1	170	43.5	34.8	120
東 山	21.4	25.6	17.5	150	48.0	30.6	140
東 陸	20.7	24.9	15.6	160	51.3	29.3	180
山 海	21.1	26.4	16.2	160	49.8	31.5	160
畿 陽	18.0	22.4	14.0	160	35.8	20.2	180
陰 国	15.0	17.7	12.6	140	18.4	26.0	70
州 州	17.0	20.5	13.9	150	43.2	27.8	160
北 九	16.6	20.5	12.8	160	36.2	23.2	160
南 九	14.2	19.5	9.1	210	30.2	18.0	170

(昭和22年)

地 方 名	訂 正 死 亡 率				20~24才死亡率		
	総 数	男	女	性 比	男	女	性 比
全 国	15.4	19.2	11.9	160	19.7	20.5	100
道 北	13.1	17.1	9.3	180	17.7	17.3	100
東 京	15.2	18.1	11.2	160	17.7	19.2	90
東 北	13.8	15.7	10.8	150	17.4	17.9	100
東 南	13.9	15.9	12.2	130	18.0	23.6	80
北 海	13.9	15.7	12.1	130	15.2	18.4	80
道 南	21.7	28.4	14.8	190	30.4	22.6	130
東 山	19.2	22.4	15.9	140	27.4	27.4	100
東 陸	16.6	19.9	13.7	150	22.9	22.2	100
山 海	17.6	20.9	14.7	140	17.4	28.7	60
畿 陽	14.9	17.9	12.6	140	14.0	12.0	120
陰 国	13.9	17.0	11.2	150	18.9	21.9	90
州 州	17.5	25.2	10.9	230	17.0	25.1	70
北 九	12.3	16.1	8.5	190	16.4	14.1	120
南 九	12.2	16.5	8.1	200	17.3	10.9	160

(昭和10年)

地 方 名	訂 正 死 亡 率				20~24才死亡率		
	総 数	男	女	性 比	男	女	性 比
全 国	20.7	25.5	16.1	160	47.3	31.5	150
道 北	21.5	27.0	16.8	160	39.9	39.0	100
東 京	18.5	22.5	15.5	150	32.8	27.2	120
東 北	22.6	29.8	18.5	160	56.1	44.7	120
東 南	20.6	26.0	15.7	170	40.7	29.9	140
北 海	26.7	31.3	17.8	180	55.8	45.6	120
道 南	22.9	31.3	16.0	200	51.0	34.2	150
東 山	21.7	26.6	17.1	160	43.0	31.2	140
東 陸	22.7	27.0	18.1	150	47.6	36.7	130
山 海	20.0	24.6	15.8	160	33.8	30.0	110
畿 陽	19.5	25.4	15.6	160	38.2	29.6	130
陰 国	18.5	21.6	15.0	140	29.2	24.0	120
州 州	20.4	27.8	13.3	210	33.7	18.8	180
北 九	16.6	20.7	12.8	160	35.8	27.2	130
南 九	16.7	23.5	10.0	240	40.8	17.0	240

(昭和5年)

地 方 名	訂 正 死 亡 率				20~24才死亡率		
	総 数	男	女	性 比	男	女	性 比
全	21.3	26.7	15.8	170	42.8	32.7	130
北	21.6	28.1	15.6	180	40.0	37.1	110
東	20.1	26.3	14.2	190	33.7	27.2	120
北	22.0	28.6	16.2	180	38.7	35.7	110
東	17.9	22.6	15.2	150	29.4	27.1	110
南	25.5	33.2	16.2	200	43.1	30.1	140
北	22.6	32.7	14.9	220	39.3	25.7	150
東	28.2	32.0	22.3	140	65.2	65.4	100
東	22.1	27.6	16.8	160	49.7	38.6	130
近	24.2	31.0	18.7	170	45.2	36.1	130
山	22.4	28.6	16.6	170	42.8	34.5	120
山	20.9	28.2	14.1	200	36.8	27.0	140
四	20.3	24.1	16.6	150	33.6	29.6	110
北	16.6	21.9	11.3	190	31.0	27.6	110
南	17.1	29.2	10.4	280	30.9	23.0	130

(大正14年)

地 方 名	訂 正 死 亡 率				20~24才死亡率		
	総 数	男	女	性 比	男	女	性 比
全	18.8	25.0	14.2	180	42.4	30.6	140
北	19.8	22.5	16.9	130	29.3	30.2	100
東	19.9	25.5	13.9	180	32.9	25.6	130
北	23.2	29.1	17.1	170	65.7	30.2	220
東	17.4	20.0	14.4	140	28.4	25.8	110
南	24.7	29.5	19.3	150	45.3	42.3	110
北	22.9	29.5	16.5	180	51.3	30.3	170
東	24.5	30.1	18.3	160	59.7	37.7	160
東	20.8	25.1	15.7	160	52.8	36.4	140
近	22.6	26.5	18.2	150	36.2	34.6	110
山	23.5	30.1	16.5	180	58.8	32.2	180
山	18.9	23.8	14.0	170	41.6	47.0	90
四	20.1	26.4	13.3	200	44.8	17.8	250
北	16.5	21.3	11.6	180	38.1	20.5	190
南	15.5	19.9	10.7	190	38.9	18.6	210

(大正9年)

地 方 名	訂 正 死 亡 率				20~24才死亡率		
	総 数	男	女	性 比	男	女	性 比
全	20.8	25.2	15.9	160	41.7	27.2	150
北	18.9	22.8	13.2	170	32.2	18.2	180
東	17.4	22.0	12.6	170	23.6	17.1	140
北	22.0	22.9	18.7	120	36.7	31.9	110
東	15.6	16.2	14.3	110	24.6	24.1	100
南	22.4	26.3	18.2	140	35.5	36.5	100
北	21.2	26.6	15.7	170	43.5	39.4	110
東	22.7	28.3	17.1	170	34.9	39.3	90
東	20.7	25.1	15.6	160	36.9	36.1	100
近	21.2	24.1	15.9	150	32.8	30.0	110
山	20.9	22.1	16.2	130	41.7	31.8	130
山	15.9	18.9	12.7	150	31.6	34.7	90
四	18.4	23.3	13.6	170	32.6	22.1	150
北	15.4	20.5	10.1	200	40.5	20.8	190
南	15.0	16.1	13.7	120	21.3	11.4	190